



## 火災を起こさないと心に誓い、春季防災訓練を実施

明治29年4月13日に、勝山旧町内で死者5人、負傷者32人、1120戸余りが全焼する大火災が発生。勝山では、後世に教訓として残していくために、毎年4月13日に春季消防訓練を実施し、毎月13日を「市民防火の日」として、消防署では夜回りをしています。

今年は、昭和町2、3丁目一帯で、春のフェーン現象下に火災が発生し、折からの強風で山林へも延焼したとの想定により消防訓練が行われ、防災ヘリコプターも出動するなど本番さながらの訓練が、消防団員のきびきびとした動作のもと実施されました。

また、訓練終了後には、勝山市の無形民俗文化財に指定されている伝統行事「走りやんこ」がお茶所橋前を出発点として開催されました。市内消防団12分団が2組各6チームに分かれ、縄をリレーしながら15区間2.6キロで健脚を競いました。沿道では、市民や市内園児らの応援を受けながら、消防団員は勇ましい姿で走り抜けていきました。



園児らの応援を受けながら、桜が散り始めた長山公園の最終ゴールを目指し走る消防団員

## 旧機業場移設工事安全祈願祭

4月19日、来年2月までに約2億2,200万円をかけた施工される勝山市旧機業場建設工事の安全祈願祭が、建設協議会により行われ、勝山市や工事関係者ら約40人が参列しました。この工事で、旧機業場は南側へ約30m移設され、改修工事や耐震補強などが行われます。また、工事期間中の見学会や、建設工事に合わせたイベント開催などの企画を予定しています。

山岸市長は、あいさつで「勝山の発展の礎となった繊維産業の歴史を語り伝え、勝山の自信にしたい。そして、旧機業場を、市民相互ならびに観光客との交流の施設、勝山の観光の起点となる施設、勝山市の繊維産業の歴史が分かる施設を目指し、市民から親しまれる施設として活用したい」と述べました。

勝山市旧機業場活用検討委員会では、1階を「ウェルカムゾーン」として市民や来訪者が気軽に利用できる空間とし、旬の勝山やエコミュージアムの成果などの情報発信をし、2階「ミュージアムゾーン」では繊維産業の歴史を知るための展示などを行う計画案を採用し、今後さらに詳細を詰めていきます。



地面を清め祓い、今後の安全を祈願する

## 創立50周年記念に向けて、かつやま恐竜の森にブナ林を

勝山ロータリークラブ（会長 中村敬治さん）では、4月22日に会員とシルバースタッフの23名が長尾山総合公園「かつやま恐竜の森」のステゴサウルス休憩所付近で、小雨が降る中、ブナの苗木100本を植樹しました。

これは、同クラブが平成23年に創立50周年を迎えるにあたり、約9500平方メートルの場所に、平成22年まで毎年植樹をしながら計1200本の植樹をすることで創立50周年の記念にするもので、以前から他の団体とも手を組みながら植樹を進めています。

これにより、来園者に自然の大切さを知ってもらい、環境浄化と美化を図り、人と環境にやさしい公園・都市づくりを目指し、ブナ林で癒しの空間を創り出すことがねらいです。



みんなで力を合わせて、ブナの苗木を植える

## 仲間 GROUP



## 県大会目指して、さらにパワーアップ

### 勝山男子バレーボールスポーツ少年団

キャプテン川端俊樹さん（村岡小6年）を中心に8人が一丸となり練習に励む「勝山男子バレーボールスポーツ少年団」を訪ねました。ドッジボールで球が恐く

でトスやレシーブの練習をした後、コートに入って試合に向けた実践練習をこなします。

て逃げ回っていた川端さんが球に慣れようと始めたバレーボールで成長し、今ではチームをまとめるまでに。バレーボールの魅力について尋ねると、「コートが広い上に、球が小さいのでチームワークがとても大切です。アタックが決まった瞬間は、床がパンと音をたてて気分が最高。」とのことでした。

同少年団の練習は、毎週水曜と土曜の2回。2時間でランニングや柔軟体操などの基礎トレーニングをし、ペアを組ん

## 出会いふれあい

## 園遊会に参列でき感謝

### 勝山市土地改良区理事長

牧下 信 芳さん（78） 〓平泉寺町平泉寺

効率化を目的として従来の6つの土地改良区を一つにまとめようと、平成15年に「勝山市土地改良区統合整備推進協議会」を立ち上げ委員長として活躍してきた牧下

著名人とともに御苑の散歩道に立ち、天皇・皇后、両陛下をはじめ皇族の各殿下のお姿を拝見されました。

信芳さんは、賦課金など幾つもの難題を乗り越えて統合を成し遂げました。また、約25年の長きにわたり土地改良区の役員を務められた功績も合わせ、昨年2月に県政功労賞を、11月に土地改良功労者として旭日単光章を受章され皇居の春秋の間で天皇陛下に拝謁の栄を受けました。そして、今年の4月26日に赤坂御苑で催された園遊会に宮内庁長官から招待を受け、出席された約2000人の各界の

牧下さんは「前から2列目に立ちました。周辺には米軍司令官や大使館のかたが多数おられました。前日の悪天候から一時的に好天に恵まれ、天皇陛下を間近に拝見でき、感慨無量の思いでいっぱいになりました。このような大変貴重な経験ができましたのも、私を支えてくれた関係者の皆様のご理解とご協力の賜です。心から感謝しています。」と出席された感想を語っていただきました。

## すてきに人生

